

## 令和元年度社会福祉法人かえつ福社会事業総括

### 【かえつ福社会理念】

わたしたちは「いつでも、どこでも、誰でもが安心できるケア」を提供し、地域住民と利用者とともに安心して住み続けられるまちづくりの実現を目指します。

### 【施設運営理念】

- 利用者の立場に立ち人権を尊重した運営を行います。
- 医療との連携を強め、障害があっても最後までその人らしく暮らせる施設を目指し、利用者とそのご家族が納得できるように支援します。
- 利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります。  
家庭的な雰囲気の中かで一人一人の個性や生活のペースを大切にした健康的な生活と、利用者が相互に社会的関係を築き、自立と自由を大切にした日常生活が送れるよう支援します。
- 利用者が地域の一員として地域や家族との結びつきや交流を大切にして、安心して暮らせるように支援・活動をすすめます。
- 地域に開かれた施設として地域の声に耳を傾けながら、人の集う場の提供や多様な機関等と連携・協働する、地域とともに発展する組織を目指します。

### 【法人概要】

法人名	社会福祉法人かえつ福社会
代表者名	理事長 山川 良一
主たる事務所の所在地	新潟市秋葉区東金沢 1459 番地 5
認可年月日	平成 24 年 10 月 25 日
設立登記年月日	平成 24 年 10 月 26 日
役員数	理事 6 名、監事 2 名、評議員 8 名

### 【事業】

- ① 特別養護老人ホームあがうら
- ② 特別養護老人ホームあがうらショートステイ

### 【職員総数】 令和元年 3 月 31 日現在

103 人

## 【法人総括】

1. 2019年4月よりの全職員の賃金ベースアップ等の改善、2019年10月よりの特定処遇改善加算の取得による他職種含む賃金改善や、雇用管理コンサルタントによる雇用管理相談事業による「快適な職場環境を構築していくために」の全職員研修の実施など、人材確保と定着の取り組みを強化しました。
2. 新潟市地域包括ケア計画第7期事業計画への公募で、認知症対応型共同生活介護事業選定を受け、2020年4月開設に向け準備をすすめました。

## 【事業運営総括】

2019年度 特別養護老人ホームあがうらBSC総括は別紙

### <2019年度BSC方針総括>

#### 1. 利用者の視点に立ち、入所・入居者、利用者のサービスの向上、地域の一員としての交

流を深めます。

- ・24時間シートの作成・更新をサービス担当者会議にて多職種で見直しを行い、定着しました。定期的なケアマネージャー会議を持つことで、モニタリングをはじめ、カンファの充実など、ケアマネジメントの質の向上につながりました。
- ・入居者の聞き取りは82人/100人中、希望の実現は58人/100人中となりました。個別の外出、甘味・食物の提供等、昨年約4割から約6割の実現へと広がりました。
- ・元気アップサポーター登録7名を含む92名のボランティアさんより、あがうら祭他8クラブ、1企画等へご協力いただきました。今年度ハーモニカ(1回/月)、ギター(1回/2か月)、習字クラブ(1回/月)活動が開始しましたが、新型コロナウイルス対応のため、2月末より全ボランティア活動を中止しました。
- ・たんぽぽ保育園より7回、キッズクラブより2回、新津第五中学校福祉体験学習等11の訪問を受け、入所・入居者との交流をはかりました。
- ・あがうら便りの地域定期配布(年2回)地域は、12町内にとどまりました。
- ・苦情は2件寄せられました。実務の正確性、接遇の向上に努めます。

#### 2. 介護の質・業務改善の視点に立ち、ケアの質の向上に努めます。

- ・新潟市への事故報告は、6件。発生した事故・ヒヤリハットの対策について全例速やかに検討できました。
- ・食事形態の変化に伴うとろみ剤の標準化に取り組み、12月アンケートでは93%の職員が、計量による適正なトロミ付ができていると回答しました。
- ・入所・入居者も参加する水害時・地震時の実地訓練を各1回行いました。

### 3. 技術建設・人材育成、成長の視点に立ち、民医連職員の育成をすすめます。

- ・年1回以上の全職員面接を80%の職員に実施できました。
- ・1ユニット1事例のまとめをユニットで取り組みました。  
新潟民医連学術運動交流集會に看取り介護事例1例、新潟民医連介護職部會へ認知症ケア1事例、新潟民医連看護・介護活動交流会へご家族への満足度調査1研究、全国21老福連へ認知症ケア1事例を発表できました。
- ・外部研修95人、施設内研修15回延べ239人参加しました。  
ライセンス取得は、3月末現在介護福祉士41人（比率65%）。喀痰吸引可能者は35人（比率55%）となり、引き続き資格取得を支援します。

### 4. 地域や社会とともにの視点を深めます。

- ・全日本民医連「民医連の綱領と歴史」ブックレット学習は、全職員の86%（正職員全員）が学びました。
- ・地域の他事業所との会議・交流会に参加し、嚥下・歯科の取り組みを学び施設運営に活かしました。
- ・地域における‘支え合いのしくみづくり’に町内會と協同で取り組み7月より老人クラブのカラオケ月4回、子供将棋へ月2回の施設解放を開始しました。

### 5. 健全な経営収支を確保します。

- ・特養入居率94.7%、ショートステイ利用は80%と予算を達成しました。
- ・職員確保では、23名の介護職員を確保し増員できました。  
引き続き、職員の安定確保と定着は最大の課題です。

以上

参考)

- ・職員面接(介護Ⅳ2/5 57.6%。医務 7/8。 事務室 正職員 5/5 100%)
- ・職員確保では、特養及びグループホーム開設に合わせて計 35 名の介護職員を確保し
- ・特養入居率 94.7%、ショートステイ利用は 80%と予算を達成しました。

(入居までの空床 2018 619 日 24.76 日、2019 463 23.15 日)